

元の生活をかせせ・原発被害いわき市民訴訟原告団

# 3/26(木) 第10回裁判

## 14:00~ **とろ** 福島地方裁判所いわき支部 二人の原告が口頭陳述を行います

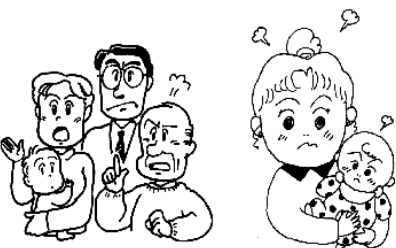
----- 駐車場は飯野八幡宮境内と広田次男法律事務所をご利用ください -----  
----- 参加者は12:30までに飯野八幡宮広場にお集まりください -----

- 12:40 飯野八幡宮会館で決起集会開催
  - 弁護団・原告団あいさつ
- 13:05 デモ行進出発
- 13:15 傍聴席の抽選に並ぶ  
抽選開始
- 13:30 入廷者の送り出し
- 14:00 ■ 裁判開始  
(入廷者以外は飯野八幡宮会館に戻る)
- 14:00 ● 会館で裁判についての説明会  
・陳述者の紹介と陳述内容について
- 15:00 終了・解散

どなたも、  
話し合っ、お出でください

裁判所を原告と支援者で埋め尽くしましょう

原発ダメ!



添田孝史著「原発と大津波 警告を葬った人々」(岩波新書)が話題になっています。著者は国会事故調の協力員として調査に携わり、東電や電事連の内部文書をたどって本書を書いています。その中で東電が、1997年には8.6mの津波を予想していたことや、2008年には15.7mの可能性があることもわかっていたこと、保安院が2010年福島県知事からの安全確認要請時に津波問題の情報を隠したことなどを指摘しています。

前回の公判廷で弁護団はこの本の内容を取り上げて弁論しています。原告団の意見陳述も、回を重ねるごとに被害の多様さの核心に触れたものとなっています。まだ、公判廷に入っていない人はぜひ傍聴を希望してください。

寒さが残っていますが、沢山の人が参加して私たちの強い意志を示そうではありませんか。

原告団長・伊東達也